

委員会の焦点

～委員会審査報告から～

厳しい運営が続く ならい荘

経済建設委員会

当委員会には、17年度決算認定を含めて、12件の議案が付託されました。この決算の中に、ならい荘の運営が厳しく、今後市の会計から切り離さなければならぬ状況もあり得ることが明らかに。また高校北通線の用地取得価格が、5年

前の学園ゾーン取得価格より1平方メートルあたり1千900円程下がってしまったことも明らかに。18年度補正予算案件では、市営住宅管理費について財源の組替えとして、床尾団地の台所改修に伴い、設計及び施工業者からの協力金60万円を受けるとする説明を受け、委員からは疑問視する意見もありました。また5月に火災

ファミリーサポート 活用広がる

福祉教育委員会

福祉教育委員会では、9月6日、7日両日議案審査を行いました。議案第1号平成17年度一般会計決算認定では、子育て支援のファミリーサポートセンターの状況についての質問に、「サポーター養成講座を

開催している。提供会員、依頼会員ともに100人余の登録があり、活用が広がっている」との答弁がありました。議案第18号平成18年度一般会計補正予算については、児童福祉費のCAP（子どもの安全のためのプログラム）は学年単位での研修開催予定だったがクラス単位での実施に伴う補正であるとの説明があ

17年度一般会計決算 実質収支3億円余の黒字

総務環境委員会

本定例会で付託された案件は、17年度の決算認定、条例改正、補正予算などでした。審査の結果はすべて原案のとおり認定または可決すべきものとなりました。一般会計決算は、市税や地方交付税が前年度より増え、実

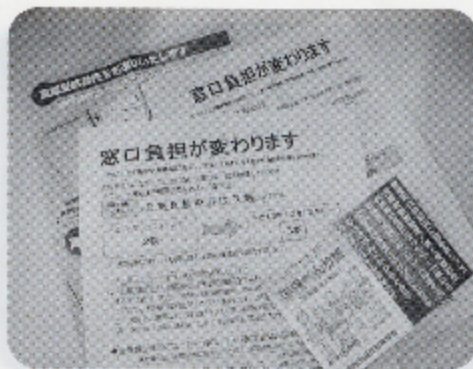
質収支は約3億2千万円となりましたが、実質単年度収支は赤字となりました。全体的には厳しい財政状況ですが、健全な財政運営が出来たと報告がありました。国保会計では、税率改正と一般会計からの繰入の結果、2億4千万円を繰越すことができました。条例改正では、「国民健康

保険法」が改正されたことにより、お年寄りの負担金が一歩増加することになるなど、必要な改正が行われました。補正予算では、一般会計で基金積立金などの補正で約2億8千万円を、国保事業特別会計では保険財政共同安定化事業拠出金などの補正で3億7千800万円を追加しました。



日の出保育園、塩尻児童館と併設の子育て支援センター

りました。教育費の学校管理費中楢川小、習川小の閉校行事にかかわる小学校補助金が過大なものとの指摘があり、精査し適正な額の交付と、このような指摘があった事に関係者に伝え、予算の有効使用を求めること、さらに今後教育委員会として一貫した対応をしてほしい旨の3点の付帯意見を付け認めました。



10月1日から70歳以上の医療費の窓口負担が一部増加へ



視察を行った雨水下水道工事 (広丘郷原)